
物理的及び化学的性質

外 観：固体、シート状
色　　：白色
臭　　い：なし
融　　点：適用なし
沸　　点：適用なし
引火点：適用なし
溶解性：水に溶解しない

安定性・反応性

安定である。

有害性情報

急性作用：眼、皮膚に付着した場合…直接接触時に物理的的刺激があるが毒性はない。
慢性作用：特になし。
発がん性：ガラス長繊維は国際ガン研究機関（IARC）の分類ではグループ3に該当している。

環境影響情報

現在のところ、環境影響に対する研究報告はない。

廃棄上の注意

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は“ガラスくず・陶磁器くず”に分類されるので、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”に従って、適切に処理する。

輸送上の注意

特になし。但し品質上、容器が破損しないように、水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

適用法令

作業環境の一般粉塵として労働安全衛生法令施行「粉塵障害防止規則」
労働省労働基準局長　基発第一号　平成5年1月1日
「ガラス繊維及びロックウールの労働衛生に関する指針」

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常取扱を対象としたものなので、特殊な場合には、用途・用法に適した安全対策を施してご利用ください。

その他の情報

参考文献

- 1) ガラス繊維協会：「ガラス繊維の人体に及ぼす影響」平成5年3月発行
 - 2) ガラス繊維協会・ロックウール工業会：
「ガラス繊維及びロックウールの労働衛生に関する指針の解説」平成5年6月発行
 - 3) ガラス繊維協会：「ガラス繊維の労働衛生に関する指針マニュアル」平成5年6月発行
 - 4) ガラス繊維協会・セラミックファイバー工業会・ロックウール工業会
「人造鉍物繊維（MMMMF）繊維濃度測定マニュアル」平成4年8月発行
 - 5) 日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告（2004）
-